

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	異常気象により災害のリスクが高くなっている。山間地という立地条件のため、その都度の避難が必要となっている。1泊程度でなく今回は2泊となり利用者の居場所や物品の確保が課題となった。また職員6人での勤務体制も限界となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難のタイミングをどの情報を基に行うか。 ・避難先の居場所の設定 ・長期の滞在となった場合の物品の確保 ・職員の応援体制の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・上田市の気象情報やアメダスデータと現地の情報を判断の基準とする。 ・しおがわ敬老園で日中の必要ベットの確保をお願いする。 ・必要物品のリスト作成を行い借りられる物と持参しなければいけないものを把握する。 ・3日以上になると職員体制が組めないため各職場に応援体制を依頼する。 	12ヶ月
2	33 34	現在平均介護度3.2、平均年齢も88歳といつながらあるか分からない。主治医・訪問看護・家族の意向を整理して緊急対応ができるようにしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・看護・家族との連携をどのように取るのか個々整理する ・医療機関の受け入れ体制の依頼 ・情報共有の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々家族の意向が異なっているので、医療と話し合い、個々の対応について整理しておく。 ・主治医のいる病院で受け入れが出来るよう依頼する。 ・どこまでの情報が必要なのか確認して共有する。 	12ヶ月
3	55	認知症の重い人・軽い人の対応について、どうしても作業やレクが片寄ってしまっており、重度の方がいないがしろになってしまっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・重度の利用者の出来ることや接し方の工夫が必要 ・個々の力が発揮できる場所や作業への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対する接し方や言葉使いを丁寧に行い誰もが心地よい環境にする。 ・職員一人一人がいろいろチャレンジし個々のできることや落ちつける環境作りに取り組む。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。